

☆ 中 国

**業 況**

**2012 年第 1 四半期、内外ともに需要減速**

中国紡織工業連合会が発表した 2012 年第 1 四半期の繊維業況によると、欧州危機の影響もあって需要が内需、外需ともに低迷、国内外の綿花価格差も拡大した。以下は項目ごとに直近のデータを含めて紹介する。

- ① 生産：2012 年 1～4 月、繊維企業の工業生産高は前年同期比 13.1% 増の 1 兆 6,771 億元（2,711 億ドル）となった。伸び率は前年同期より 17.4 ポイント鈍化した。生産額は 12.7% 増の 1 兆 6,326 億元（2,639 億ドル）、伸び率は 17.6 ポイント鈍化した。生産量は、化学繊維が 13.1% 増と伸び率は 2.2 ポイント鈍化、織物が 12.8% 増と伸び率は 2.7 ポイント鈍化、衣料品が 7.8% 増と伸び率は 5.8 ポイント鈍化した。糸は 15% 増と伸び率は 4.4 ポイント上昇した。
- ② 内需：1～4 月、繊維企業の国内売上高は 14.8% 増の 1 兆 3,755 億元（2,223 億ドル）と 17.5 ポイント鈍化した。靴や帽子、衣類など小売業売上高も 15.6% 増と 7.9 ポイント鈍化した。
- ③ 繊維輸出：1～4 月、繊維品輸出は 1.1% 増の 710 億ドル、数量ベースでは 2.2% 減、そのうち紡織品は 0.2% 増の 307 億ドル、衣類は 1.8% 増の 403 億ドルであった。1～3 月の日欧米向けは前年同期比 6.6% 減、特に欧州向けは 8.4% 減と大幅な減少となった。
- ④ 投資：1～4 月、繊維業界全体の固定資産投資総額は 18.0% 増の 1,846 億元、特に中西部地区への投資が活発で、中部が 24.4% 増、西部地区が 24.9% 増となった。
- ⑤ 利益：1～3 月、繊維企業の利益総額は 1.8% 減の 537 億元、販売利益率は 4.5% となった。

今後、政府は、国内外の綿花価格差解消のため、綿花の流通改革に乗り出すほか、銀行による中小企業への融資状況改善に取り組む。また第 12 次 5 カ年計画にも照らし合わせて、繊維業況活性化の体制を整え、繊維品の付加価値を高めて国際競争力を強化する意向。

**技 術**

**古織道、超高強度ポリエステル開発**

大手ポリエステルメーカー浙江古織道新材料は、このほど、フェンス向けに新型の超高強度ポリエステル糸を開発したことを明らかにした。従来の鉄筋製フェンスに比べ、安全性に優れているという。この新型のポリエステル糸は 2012 年 7 月に生産が開始される予定。

同社によると、高速道路のフェンスには現在鋼材素材が使われているが、しなやかさがなく、衝突事故が起きると、事故が起きる可能性が大きい。しかし、新型の超高強度ポリエステル糸は強度が高いうえに、柔

軟性があるため、フェンスとして用いれば、自動車が衝突した際の緩和作用が高く、死亡事故等の大事故の事故率を下げるができるという。

同社では、このポリエステル糸の用途はフェンスだけにとどまらず、今後、海洋ケーブル、救命ロープなどの製品にも使用する計画があるとされている。鋼鉄製の標準的なコンテナは約 3.5 トンに対して、この新型超高強度ポリエステル糸を用いたコーティング素材から作られたコンテナは 1 トン弱であり、海運会社の輸送コストを 5～10% 減らすことが可能。

浙江古織道は、年産 30 万トンのアジア第 2 位の産業用ポリエステル長繊維メーカーで、自動車、建築、包装材、レジャー・スポーツ、防護材分野など向けの差別化ポリエステルを生産している。同社は、毎年、売上の 3% を研究開発費にあてており、2010 年の研究開発費は 1.2 億元に達する。これまで、超低収縮ポリエステル産業用 F、超高強度原着ポリエステル糸、ナノ改性難燃ポリエステルチップなどを開発。7 件の特許を取得しており、浙江省の重点科学研究計画、国家重点計画プロジェクト、国家重点新製品などに取り上げられている。省エネへの取り組みでは、同社が 2012 年より導入した新しい直紡技術は、従来に比べエネルギー消費を 25%、コストを 15～20% 削減できるとしている。

## ☆ インド

### 小 売

### 米 Brooks、印 Reliance と合併会社設立

米衣料ブランド Brooks Brothers Group, Inc. と印 Reliance Industries Group の傘下企業 Reliance Brands Limited はこのたび、両社でインドに合併会社を設立すると発表した。Brooks が 51%、Reliance が 49% を出資、Brooks はインドの大都市で同社の衣料品やスポーツウェア、アクセサリなどを販売していく計画。

1920 年代に Brooks は、インドのマドラスチェックを米国で初めて紳士服に採用した経緯もあり、インドとは繋がりが深い。同社ブランドを支持する消費者がインドには多いという。Brooks Brothers は 2011 年時点で米国に 210 店舗、さらに韓国、日本、中国、台湾、シンガポール、フランス、米国、チリ、カナダ、イタリア、メキシコ、ギリシャなど先進地域を中心に 200 店舗を展開している。同社の次の拡大計画の目標として、小売りの伸びの著しいインドをターゲットとしている。

現在、インド政府は海外直接投資比率を条件付きで 100% 独資による投資を認めている。しかしながら Brooks は Reliance と提携して、インドの小売市場への参入を本格化する。

以上